

1年部”Where there is a will, there is a way.”より

『衝撃!2年生7月進研模試で偏差値50以上の人が1クラスの人数分どこかにいっちゃうの?~2月1日(木)7限 学年進路HRより~「自己を確立」させよう!』
各クラスで担任の先生と個人面談が始まっていることと思います。

- ①「自分が(2年生になるにあたって)どうありたいのか?」~将来の展望、自分像が想像できますか?部活動の、学校生活の中心学年としてどうありたいのでしょうか?
- ②「どうやって勉強しているの?」~自分の平日、週末の自宅学習時間の振り返りと見直し、そして将来の自己を確立するためには今の勉強のやり方で良いのでしょうか?

最初に書きました、偏差値50以上の人が40台に30人程転落する、という過去のデータからも確認できる、この衝撃的な予言?結果?、皆さんどう考えましたか?学年全体の平均偏差値も52.1→49.5になったそうです。つまり30台になる偏差値40台の人も少なくないと推測されます。7月までの「見通しを持った学習をすすめる」~3月入試時期→春休み→新学期→GW→総体総文祭…ばたばた慌ただしい、そういった日々の中での計画的な学習、まずはフォーサイトにでも計画を書いてみましょう!

2年部より ~総合的な学習の時間の取組~

2年生の総合的な学習の時間では、2学期から「小論文」、3学期から「志望理由書」作成に取り組んできました。

3年0学期を迎えて、多くの生徒が、そして、全国の多くの高校生が意識を高めて、本格的に「受験勉強」に取り組み始めているところです。いよいよ志望校受験あるいは公務員試験を具体的にイメージして、日々力をつけていかなければなりません。

入試あるいは入社試験等において、「小論文」や「志望理由書(志望動機)」等を課せられる場合があります。その際に、「表記・文章の基本ルール」や「文章構成の仕方」を知っておくことは必ず役に立ちます。また、「資料や出題の意図を正確に読み取る力」や「自分の考えを適切な根拠にもとづいて述べる力」も必要となります。

11月終わりに受けた「小論文テスト」の結果を生徒たちに配付しました。やはり、自分で一度書いてみる事が大切です。結果を受けて、これから入試・就職試験本番に向けて、改善点をチェックしておきましょう。3月には、同じく生徒たちが自分で書いた「志望理由書」が返却されます。 ※春休みに九州大学伊都キャンパス見学及び河合塾訪問を行います。

参加希望の生徒は、2月19日(月)までに担任へ申し出てください。

小論文について

文責 3年部 高木 直子

センター試験後の3年生の動き

1月13日、14日にあったセンター試験の結果を踏まえ、国公立大学等の出願。

↓
小論文が課される大学を受験する生徒は、過去問等の小論文を書き、小論文担当の各先生方から指導を受ける。

国公立前期入試 2月24日(土)、2月25日(日)

試験科目 小論文に出願した本校生徒 30人

国公立大学(前期日程)入試 本校出願数 112人

つまり、

本校生徒の3~4人に1人が、小論文が課される国公立入試(前期日程)を受験します。

実際に出題された問題を見てみましょう。

あなたなら、どのような小論文を書きますか?どんな力が必要だと思います?

なぜ、いろんなことに挑戦したり、いろんな教科を学んだ方がいいと、あなたは思いますか?

例えば、
部活動や授業の中で・・・

「今のやり方でも、そこそこできる。新しいやり方を身に付けるのに時間がかかるから、今のやり方でやった方がいい。」と考えるあなたがいられるかもしれません。

得意なことに逃げると、なぜ得意なことがだめになると、あなたは思いますか?

小論文に取り組むことで、「社会問題」や「なぜ学ぶのか」を考えられる学生に、あなたはなれます。そんな学生を大学は求めています。



2016年度 宮崎県立看護大 (前期日程) 一部抜粋
ある程度の年齢になると人間は得意なことに逃げるようになります。そうすると得意なことがだめになっていきます。上手くいかないことを得意なことで解消するというサイクルに陥ってしまふと、得意なことが得意でなくなっていくし、楽しくなくなってしまいます。(中略)
自分の得意な世界しか知らないと、悩み事があっても、他の角度から見ることができなくなってしまいます。そうするとだんだん、得意なことが先細りになっていって、せっかくの才能がものすごくもったいないなど、最近、私はいろんな人を見て思っています。(中略)
世の中があまりに世知辛くて、外に行くと自信を失うから、自分の得意な枠の中で安心したいという思いが一層強くなっていると思うんです。それは誰にでもある心理だからわかるけど、そういうふうにとんどん逃げて、依存するようになると、とんどん弱っていきます。自分を甘やかすことにもなってしまいます。そうやって、人生のバリエーションが、少なくなっていくのはつまらないことだと思います。
なるべく小さいうちから、若いうちにまんべんなくいろんなことをやっておいて、苦手なこともやってみて人とことん笑われるとか、好きだけど向いてないとか、そういうことをいっぱい経験しておくことも大切だと思います。そうすると大人になってから、本業のほうも上手くいくようになるでしょう。(吉本ばなな著『おとなになるってどんなこと?』ちくまプリマー新書)
問二 二重線部はどういうことですか。自分の体験や具体例をもとに三〇〇字以内でわかりやすく説明しなさい。
問三 波線部の筆者の見解についてあなたの考えを、自分の体験や具体例をもとに四〇〇字以内で述べなさい。

